The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	挽歌(八首)
Author(s)	林, 森太郎
Citation	懐徳. 1927, 6, p. 86-86
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88755
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

挽歌

林森太郎

妖僞の　狂言とこそ　鷄ごの鳴く　東の空に　過ぎませりちふ。
眞玉なす　圓滿なる君　眼之間に　かゝりて今も　忘らえぬかも。
名にし負ふ　物にもごのもや　菅の根の　永田の大人の　永くいまさず。
難波津に　文の花咲く　君ごのいさを　常磐に仰げと　文の花咲く。

（右の四首は故永田理事長を忍びて）

同齡なりし　吾を見捨てゝ　天の原　何處の方に　雲隱ります。
陸奥に　ありちふ末の　松山の　待てどいまさぬ　君を如何にせむ。
飛驒人の　うつ墨繩の　一道に　踐ませる迹の　たふとくもあるか。
言にいへば　耳にたやすし　玉襷かけずぞ默然に　あるべかりける。

（右の四首は故松山教授を悼みて）